

胡麻種類

可知也、亥かるに大和本艸に、上世に五穀の一とせし麻は、アサノミ也、胡麻にあらずとは、胡麻は胡國より來るとあるに嫌へる歟、大麻の實も穀になして食ふべきにあらず、凡かの書中に、本邦從來所有の物を、動もすれば舶來の種となせるもあり、見む者なまどひそ、

〔庖厨備用倭名本草^二〕胡麻 倭名抄ニゴマ、多識篇同ジ、考本草、一名巨勝、古ハ中國タ、大麻アリ、其實ヲ糞ト云、漢使張騫ハジメテ大宛國ヨリ油麻ノ種ヲ得來リテウヘタリ、故ニ胡麻ト名ヅク、昔胡地ニアリシ時ハ、甚ダ大ナリツルガ、中國ニ入シヨリ小クナル、或云、本ハ胡地ニ生ジテ、形體麻ニ類ス、故ニ胡麻ト名ヅク、八穀ノ中ニ最モ大ニスグレタリ、故ニ巨勝ト名ヅク、遲早二種アリ、黒白赤三色アリ、其莖皆方也、秋白花ヲ開ク、又紫艶ヲ帶タルモアリ、節ゴトニ角ラムス、長サ一寸許、四稜六稜ノモノハ、房ホソクシテ子少シ、七稜八稜ノモノハ、大ニシテ子多シ、胡麻ハ夫婦シテ種ヲマケバ、即チ生ジ茂盛ス云云、

胡麻、味甘、性平、毒ナシ、傷中虛羸ナルニヨシ、五内ヲ補ヒ、氣力ヲマシ、肌肉ヲ長ジ、髓腦ヲミタシム、久服スレバ身輕クナリテ老セズ、筋骨ヲ堅クシ、耳目ヲ明ラカニシ、飢渴ニタヘ、年ヲノブ、五臟ヲウルホシヤシナヒ、肺氣ヲ補ヒ、心驚ヲトメ、大小腸ヲ利ス、寒暑ニタヘ、風濕氣ヲヲビ、旋風頭風ニヨシ、傷寒温瘧大吐ノ後、虛熱アリテ、オトロヘツカレタルニモヨシ、産ヲモヨホシ、胞ヲオトシ、産後ニオトロヘツカレタルニモヨシ、風病ヲ生ゼズ、風病アル人久食スレバ、行歩タバシクナリ、言語ヨクナルベシ、

白油麻、味甘、性寒、毒ナシ、虛勞ヲ治シ、腸胃ヲウルホシ、風氣ヲメグラシ、血脈ヲ通ジ、頭上ノ風ヲサリ、肌肉ヲウルホシ、食後ニ生ニテ一合噉テ、終身トムルコトナカレ、又乳母是ヲ服スレバ、孩子永ク病ヲ生ゼズ、

元升[○]向^井 曰、右白油麻ハ脂麻ト本草ニイヘリ、常ニ油ヲ取ゴマナルベシ、近年阿蘭陀外科ノ藥